

1 県職員の超過勤務について 超過勤務は知事の責任!



8月25日午前7時10分
職員が県庁コンビニの入り口から入り、職場へ直行しています(30秒で10人)。(県庁舎管理規則第7条「時間外の出入りは、保安員室の時間外名簿に記入」との定めがあります。)

超過勤務については、本会議で3度
にわたり知事に質問をしてきました。
知事からは「全庁を挙げての超過勤務
の縮減に取り組みたい」との答弁を頂
いていますが、その効果があがって
いません。就業時刻後の残業は減る傾向
にありますが、早朝残業(7時頃〜)
が増えています。
しかも、登庁時にタイムカードを通
さないで勤務が行われています。
10月17日の県議会決算審査特別
委員会で早朝残業の質問をしましたが、
知事はその事実を知らなかったと答弁
しました。

これまで、大立山まつり談合疑惑、ロゴマークの高額契約、芸術家
村の用地買収が高額など税金の無駄遣いをなくす取り組みをしてき
ました。これは、現在も取り組んでいる事案であります。今回は、
4つの課題を報告します。

奈良県議会報告 阪口保

県政だより



県会議員(無所属)
会派-創生奈良

臨時号1 2017年11月27日発行

- 自宅 〒630-0134 生駒市あすか野北3-1-3 ☎0743-78-8435
- ホームページ www.sakagutitamotu.com



え県の産業医(事業場において労働者の
健康管理を行う医師)と面談をしました。
その時の産業医は「これ以上長時間の時
間外労働が生じないように職場における対
策と配慮が必要である。」と指摘しました。
ところが、平成28年12月に産業医
が時間外労働の制限を指摘しているにも関
わらず、翌月(平成29年1月分)
約100時間の時間外勤務(こちらの調
査)が行われています。
県の出勤簿の時間外勤務は、42時間15
分で、実際の勤務時間と約58時間の乖離
があります。(乖離の時間は、サービス残
業)質問に対し、知事は西田さんが自発的
に残っていたと答弁し、遺族に謝罪をする
発言は、ありませんでした。
今後、弁護士を通し公務災害を申請する
方向になります。



更に、35歳
の県庁職員が
超過勤務で過
労自殺をした
のは、県の対
応に原因があ
ると質問しま
した。
平成28年
12月8日県
職員の西田幹
さんは、メン
タル不調を訴
した。



平成28年4月20日撮影
青い所が違法盛り土。



平成29年10月23日撮影
盛り土が崩壊。



平成29年11月3日撮影
薬師堂川に土砂堆積

平成29年12月定例会
阪口保が一般質問
(奈良テレビ放映)
12月8日か11日の予定

- 1 県職員の超過勤務について
働き方の改革と県庁職員の自殺について
- 2 西松ヶ丘違法盛り土について
1年半前から危険性を指摘、県の対応が遅く人災ではないか。
工事の工法と工程の詳細住民説明会を要望など
- 3 大立山まつりなど

盛り土が崩落することで、薬師堂
川に土砂が溜り土砂ダム発生のは危
険性と近隣住民の生活(避難)に深
刻な影響が出ています。既に、奈良
県の砂防災害対策課・郡山土木事
務所・生駒市に対策を要望してい
ます。



2 西松ヶ丘住宅地の違法盛り土について 県議会で行政代執行の予算を承認

平成28年6月県議会で阪口が質問をし、知事が行政代執行も検討と答弁。
しかし、県の対応が遅く違法盛り土が崩壊しました。
(違法盛り土の経緯)

- ①平成28年4月20日西松ヶ丘現地調査視察後、すぐに崩落の危険を砂防災害対策課・副知事に伝え、対策を要望しました。
- ②平成28年6月県議会で質問↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓
- ③平成29年10月23日台風で盛り土が崩壊

知事に住民説明会、違法盛り土調査の実施、行政代執行の3点を求めました。その後、県はボーリング調査、住民説明会、行政執行の為に事業費約2億円の予算を計上しました

平成28年6月関西テレビが放映

阪口 保の 活動記録

8月

- 5日 あすか野ふるさと祭り
- 6日 スモン患者の支援活動
- 10日 関西広域連合議会
- 12日 鹿ノ台納涼祭
- 15日 ミツバチと森の不思議展
オープニングセレモニー
- 16日 西白庭台の横断歩道を視察
県警本部（県庁）に要望
- 19日 奈良県市民オンブズマン例会
- 21日 議会改革推進会議
- 25日 日本子ども支援協会と議員の意見交換
議員と子ども家庭課との意見交換
- 27日 生駒市西松ヶ丘違法盛り土住民説明会
- 28日 午前 産業基盤強化推進特別委員会
午後 企業立地の県内調査
- 29日 市政を知る会（学習会）
講演
- 30日 午前 文教くらし委員会
午後 スイムピア奈良県内調査

9月

- 1日 辻町インターの件で担当課と面談
- 7日 大立山まつり損害賠償請求の裁判
（原告代表）
- 8日 ロゴマーク損害賠償請求の裁判
（原告代表）
- 9日 生駒空き家相談センターの会議
- 10日 奈良県防災総合訓練
- 11日 徳島の再生エネルギーの視察
- 12日 産業基盤強化推進特別委員会
- 13日 奈良県議会開会
- 15日 生駒署署長・担当課と面談
（西白庭台の信号の件）
- 16日 ご遺族を訪問（県庁職員自殺）
- 19日 本会議
- 20日 生駒市立上中学校文化祭
本会議
- 21日 本会議
- 22日 午前 奈良県市民オンブズマン例会
午後 本会議
- 26日 文教くらし委員会

10月

- 1日 阪口保ミニ県政集会
- 4日 本会議
「里親制度」啓発キャンペーン
- 11日～17日 県議会決算審査特別委員会
- 14日 午前 あすか野幼稚園運動会
午後 関西広域連合議会
- 18日 生駒市地域猫連絡会
- 19日 本会議
- 20日 本会議閉会
- 23日 生駒市西松ヶ丘崩落盛り土視察
- 24日 上記の盛り土崩落について
県・郡山事務所・市の関係課との対応
- 25日 大立山まつり損害賠償請求の裁判

3 信号機の設置・白線について

信号機の設置と横断歩道の白線を塗り直す業務は、県会計からの支出で、所管は県警察本部の交通規制課です

信号機の設置は予算を伴うことから、10月の予算審査特別委員会で生駒市西白庭台での交通事情を説明し、早急な信号機（西白庭台一丁目バス停付近）の設置を求めました。



平成29年8月
西白庭台1丁目バス停付近



平成29年9月



平成29年9月
信号機の時間調整と車線の拡幅
西白庭台近くの交差点

● 質問をした経緯

西白庭台の複数の住民の方から、横断歩道の白線塗りなおし、信号機の設置、交差点での交通渋滞の緩和についての相談が来しました。

早速、要望するに当たり、数度の視察をしましたが、児童が自動車にびくびくしながら横断歩道を渡っている姿を目のあたりにしました。

白線塗り直し・渋滞緩和に対応
県警本部に白線塗り直し、渋滞緩和を要望したところ、素早く対応をして頂きました。

● 信号機の状況

信号機の設置は、県下で年に6基程度（平成28年度の設置要望数100件以上）しか設置されず要望が満たせない現状があります。

また、予算が伴うところから、私の属している創生奈良の会派で知事に対し予算の要望をしています。

本年8月に生駒署を訪問し署長・担当課の方に要望をしています。

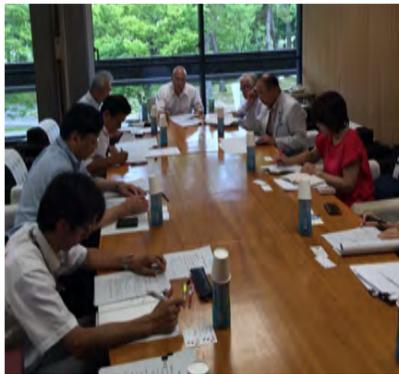
4 「里親支援」に関する意見交換会

① 超党派の議員団と団体が意見交流会
平成29年8月25日

阪口（創生奈良）の呼びかけで、山本県議（創生奈良）、和田県議（創生奈良）、山中県議（公明党）、西川県議（自民党奈良）と日本子ども支援協会代表理事岩朝しのぶさん等と意見を交換しました。

親のもとで育つことができず、養護を受ける子供は県内に約321人（平成28年）。そのうち、施設ではなく里親制度の一般家庭で暮らす子供は、約18.1%。岩朝しのぶさんは「里親制度をもっと多くの人に知ってほしい」と、「日本子ども支援協会」を設立し、講演などの啓発活動や里親の支援に取り組んでいます。

② 上記の超党派の議員団（県議5人）と健康福祉部子ども女性局家庭課との「里親支援」に関する意見交流会



平成29年8月25日

交流会には、日本子ども支援協会の方も県議団に随行して頂きました。

- 里親支援の現状
- 里親への支援
- 「新しい社会的養育ビジョン」
- ・ 里親委託率75%を実現すること
- ・ 奈良県の現状は、委託率18.1%について意見を交換しました。

平成29年10月4日
「里親制度」キャンペーン



ビーフォレストクラブの活動
「ミツバチと森を作る」ビーフォレストクラブは、棲むところがない日本ミツバチのために、森に巣箱を設置する活動をしています。

鹿ノ台、山麓公園、奈良県民族博物館、奈良県柿博物館等に巣箱を設置しています。

私は、草木の花を受粉して、木の実は種をつくり、豊かな森をつくる活動を支援しています。

8月15日ミツバチと森の不思議展 オープニングセレモニー

